

小正醸造株式会社

鹿児島県日置市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

本格焼酎の製造技術で積極的な海外展開 ウイスキー事業への参入で新たな挑戦

明治16年に初代・小正市助が創業した酒造メーカー（昭和28年に法人化）である。現在は4代目の小正芳嗣社長の強力なリーダーシップのもと、焼酎やリキュール類の製造を行い、国内はもとより世界各国に販路を拡げている。高い技術力と商品開発力を強みとしており、これまでもISC2016（世界的な酒類品評会）等で最高賞を受賞した経歴を持つ。最近ではウイスキーやGIN等の製品開発にも取組むなど、全社一丸となって「薩摩蒸留酒文化の創造」を目指している。

● 所在地 鹿児島県日置市日吉町日置3309番地
● 電話/FAX 099-292-3535 / 099-292-5080
● URL <http://www.komasa.co.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 小正 芳嗣

● 設立 1953年
● 資本金 3,000万円
● 従業員数 119人



需要獲得

世界に通用する高い技術を強みとした積極的な海外展開

かねてより焼酎の海外展開に積極的に取組み、中国やタイをはじめ25ヶ国に輸出を展開してきた。平成23年に本格焼酎メーカーとして初の芋焼酎テイスト飲料「小鶴ZERO」の販売を開始。県産のコガネセンガン（芋）の豊かな香りを封じ込め、味わい深い芋焼酎テイストに仕上げた結果、戒律で酒が禁止されているイスラム圏にも波及し、各国の日本料理店で高評価を受けている。また、新規参入を果たしたウイスキーについては、2020年秋以降、欧州向けに本格的な出荷を開始予定である。



ノンアルコール芋焼酎「小鶴ZERO」

地域のさつま芋生産農家と一体となった焼酎づくりの推進

同社では、生産農家の「顔」が見える芋焼酎造りに取組んでおり、原料となるさつま芋の全量を県内の契約農家から調達することで生産農家の所得安定化に大きく貢献している。平成13年度「農林水産祭」で天皇賞を受賞した東馬場伸氏が生産する高品質な甘藷を一手に引き受けて生産する「蔵の師魂」・「眞酒」は、同社を代表する高品質焼酎である。また、同社の商品は、地元日置市のふるさと納税返礼品にも採用されており、税収向上を通じた地域発展にも貢献している。



かめ壺貯蔵の本格焼酎「蔵の師魂」

県産大麦を活用したウイスキーの付加価値向上に向けた取組み

これまで、ウイスキーの原料となる大麦は、多くの国内製造とメーカー同様にスコットランドからの輸入に依存してきたが、他社との差別化を強化するために、今後は鹿児島県産の大麦を積極的に導入していく予定である。海外産の大麦と比較すると倍以上のコストを要するものの、原料芋の契約農家に裏作として大麦の生産を要請し、導入拡大を図っていく。これにより国産ウイスキーとしての更なる付加価値の向上を図るとともに、原料農家の所得向上にも一層貢献していく意向である。



ウイスキー製造所「嘉之助蒸留所」を新設

ものづくり